



お薬手帳 活用していますか？



「お薬手帳」は、患者さんに処方されたお薬の名前や飲む量、回数などを記録するための手帳です。

この記録があると、医師・歯科医師や薬剤師が、どのようなお薬をどのくらいの期間使っているかが判断できます。

自分のもらったお薬の記録（薬歴）になりますので、大切に保管してください。

★ 利用方法

- ・病院や医院、歯科医院、薬局に行ったときには、毎回、必ず医師、歯科医師や薬剤師に提出してください。
- ・薬局で市販のお薬を買った場合にも記録してください。
- ・病院毎に分けて何冊も持たずに1冊にまとめましょう。
- ・アレルギーのあるお薬や副作用のあるお薬、病気の主な既往歴も記載してください。
- ・お薬について、分からないこと、困ったことがあるときは手帳にメモしておきましょう。

★ お薬手帳をもっているといい点

- ・薬の重複や飲み合わせの確認や、同じ薬による副作用の再発を防げます。
- ・手術や検査によっては、服用を中止する必要があるお薬があります。お薬手帳で、かかりつけの病院でもらったお薬の内容も確認することができます。
- ・旅先で病気にかかったり、災害にあったときにも、いつも飲んでいるお薬を正確に伝えられます。

実際に東日本大震災などの震災時には、病院のカルテもなく、お薬手帳の情報から、何の病気でもの薬が必要か判断してお薬を処方してもらえています。

★最後に★

お薬手帳は、みなさんの健康を守るために必要なお薬の情報を管理する大切な手帳です。

病院を受診するときは、必ずお薬手帳を持参してください。